

# 硝子体手術における トリアムシノロン 可視化剤の活用法

—『マキュエイド硝子体内注用40mg』の使用の実際—

2011

1/29 (Sat) 12:30~13:30

第6会場 (国立京都国際会館 2F Room B-2)



座長

**小椋 祐一郎** 先生 (名古屋市立大学)

トリアムシノロンは、硝子体手術中の硝子体ゲルの可視化に広く用いられており、現在では硝子体手術にスタンダードな可視化剤として使用されていますが、従来国内では可視化剤としての適応を持った製剤はなく、適応外で使用されてきました。

しかし、ようやく昨年10月に可視化剤として「マキュエイド硝子体内注用40mg」が承認され、硝子体手術時の可視化剤にも保険適応が認められました。

本セミナーでは新しい硝子体可視化剤である「マキュエイド硝子体内注用40mg」を使用して、鈴間 潔先生からは広角観察システム等を含めた眼底視認性について、木村英也先生には黄斑疾患手術で使用する際のポイントと応用についてわかりやすく解説していただきます。

皆様方のご参加をお待ちしております。



講演1 眼底視認性と生体染色 (マキュエイド)

**鈴間 潔** 先生 (長崎大学)



講演2 黄斑疾患手術における生体染色 (マキュエイド) の有用性

**木村 英也** 先生 (永田眼科)